

ほんべつ



いいひと いいまち いきいき ほんべつ

2 未来を担う

子供たちのために

6 第51回本別山溪つつじ祭り

8 個性あるふさと寄付金の運用状況をお知らせします
国民年金コーナー

10 65歳以上の年金受給者で、住民税を納付されている人へ
10月から住民税を年金から天引きする
特別徴収制度が始まります

12 知っておこう
新型インフルエンザ

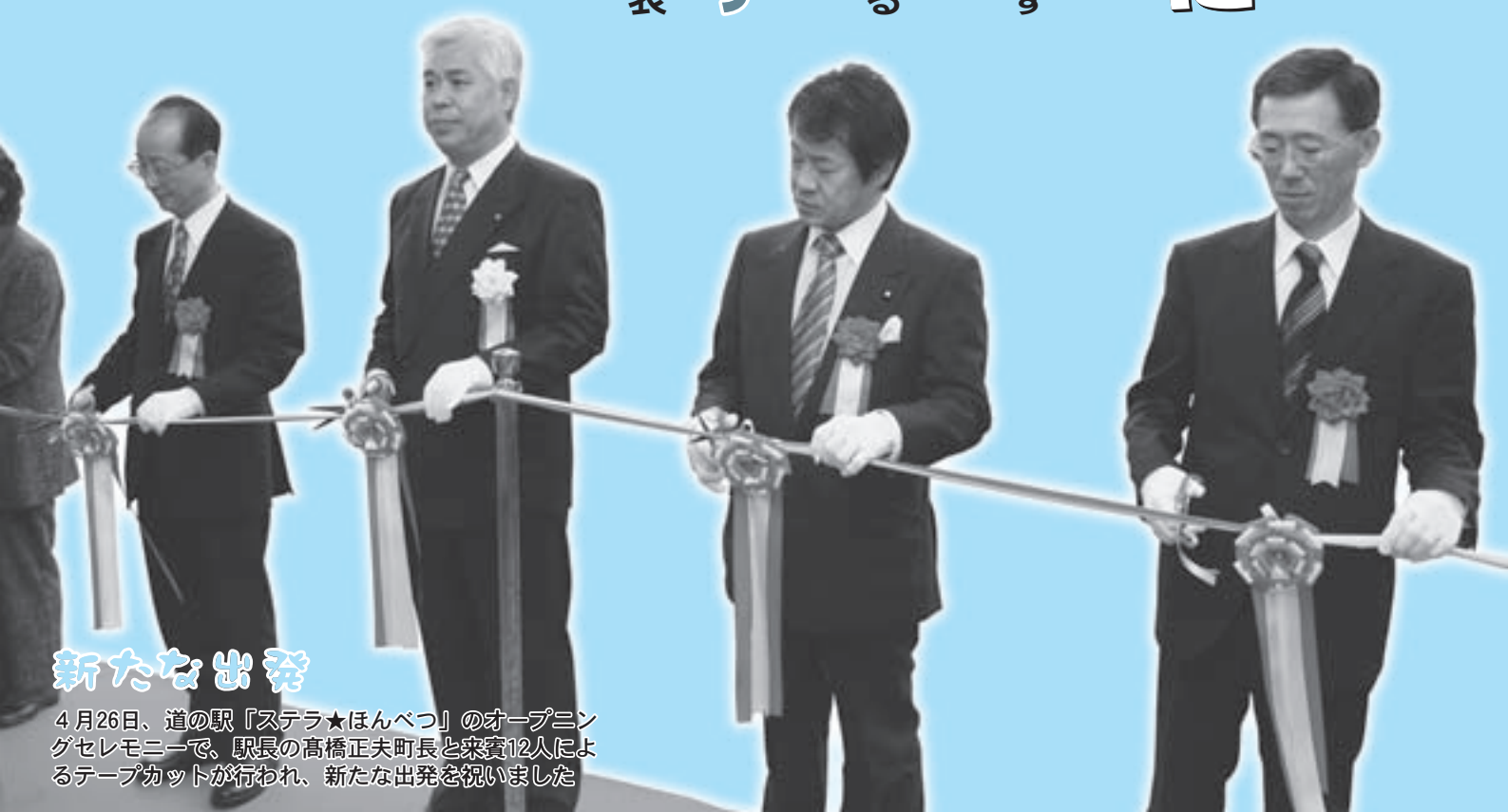
14 狂犬病予防注射と犬の登録日程表

16 わが町の七月十五日展
特攻隊員と鳥浜トメの生涯

18 心に響く書との出会い
「相田みつを展」

20 第六次本別町総合計画策定審議会がいよいよ始動

- ハロー勇足小学校……………21
- マイタウン……………22
- みんなの健康・銀河ホットライン……………24
- ご寄付ありがとうございます……………25
- 本のある暮らし・わたしたちのまち……………26



新たな出発

4月26日、道の駅「ステラ★ほんべつ」のオープニングセレモニーで、駅長の高橋正夫町長と乗賓12人によるテープカットが行われ、新たな出発を祝いました

未来を担う 子供たちのために

少子高齢化がいわゆるようになって久しい中、本町も例外ではなく、ここ数年人口の減少とともに、出生率も低下してきています。福祉のまちとして高齢者に対するケアは全国的にも有名になった本別町。そんなわが町では妊婦さんや子育て中の両親などが自然に囲まれながらすくすくのびのび安心して子育てできる環境も作っています。今月は、子育て真っ盛りという人はもとより、これから子どもをつくりたいと思っている方々に、本別町が行っているさまざまな取り組みについて紹介します。



子供たちはまちの宝物 その宝物を生み育ててくれる両親も同じ

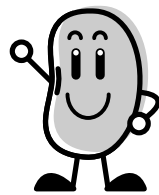
本別町から感謝を込めた言葉と記念品を贈呈する、そんな試みを四月からスタートさせています

新たに本別町で生命を受けた子供たちは、両親はもとより、本別町にとっても大切な宝です。

本別町では大変な出産を乗り越え育児に励むお母さんの労をねぎらい、生まれてきた子供たちの健康やかなる成長を願い、出産後四週間以内に、保健師が新生児訪問を行う際に、メッセージカードとささやかな記念品を贈呈しています。

これまで記念品を贈ったお母さんと赤ちゃんはまだ三人。これからもたくさんの方々に感謝の気持ちを伝えることができます。今後とも生まれてきたお子さんを随時紹介していきます。

スタートからこれまでに感謝の言葉を贈った人を紹介します



弥生町 前田 雅弥 ちゃん
(科那子ママ)



清流町 中捨 航平 くん
(志津香ママ)



木札内 天池 陸人 くん
(宏美ママ)

このほかにも、育児中や未来のパパやママを応援するためのさまざまな取り組みを進めています。

健康管理センターでは…

☎222-2219

パパとママのたまご教室

妊娠五か月以上の妊婦さんを対象に、夫婦がお互いに協力しあいながら、育児・家事、妊娠・出産の喜びや育児の楽しさを一緒に感じてもらうことを目的に年三回、四日間の教室を開催しています。妊娠・出産・育児等さまざまな不安や悩みについて妊婦さん同士一緒に楽しく学んだり、パパの妊娠体験やからだにやさしいクッキングなど新しい命を迎えるための準備を実習などを中心に行いながら、育児をサポートしています。

お母さんたちのコミュニケーションが図れる

育児ママのための「フレッシュ」講座

自分の気持ちや想いを素直に相手に伝えられていきますか？夫や家族との関係に満足していませんか？

この講座は「聴くこと・話すこと」を通じて自分の考えに気づき、こころをリフレッシュしていきます。保健師や保育士のほかカウンセラーも交えて四回のシリーズで行っています。

ご存じですか？ マタニティマーク

マタニティママを大切に



本別町では車用のマグネットとボールチェーンマスコットを母子手帳交付のときにお渡ししています



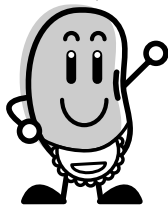
マタニティマークは妊婦さんの証です。階段や人が混雑しているところは妊婦さんにとって非常に不安を感じる場所。妊娠初期は外見から妊娠していることがわかりづらく、周囲からの理解が得られにくいことから、公共機関や交通機関で大きな負担や孤独感を与えてしまいがちです。妊婦さんに優しい環境づくりのためにこのマークが生まれました。身につけている人に気づいたら、いつでも暖かい手を差し伸べて、思いやりのある気遣いをお願いします。

一歳児健康診査

一歳六か月児健診と三歳児健診のほかに、本別町ではお子さんの発達状況を理解していただき、生活習慣の確立と日常生活自立に向けていくことを目的に二歳児健診も行っています。

また、保育士による遊びの教室の実施や身体発育、言語の発達についても、指導、育児相談を行っています。

お子さんのことで不安なことなどがありましたらいつでもご相談ください。



他にも助成制度なども充実させています

妊婦健診受診料助成制度

定期的な妊婦健診を経済的な理由で控える人が全国的に増えてきています。この健診は、胎児や母体の異常を早期発見できることから、確実に受診することが必要です。これまで本別町では一妊娠につき五回の助成を行ってきましたが、平成二十一年度から十四回に増やし、妊婦さんを抱える家庭の負担を軽減することにしました。また、超音波検査の助成も二回から八回に引き上げられました。助成回数が増えたことにより、経済的な負担もかなり軽減されます。必ず健診を受けるようにしてください。

特定不妊治療費助成

身体的な理由により不妊治療を行っている人も少なくありません。しかし、不妊治療の治療費もばかになりません。こうした方々の経済的負担を軽減するため、一回あたり五万円を限度額（北海道が助成する金額に二分の一を乗じた額）として、一年度二回、通算五年間助成しています。

図書館では…

022-5112

お母さんの声で子供に語りかける。子供にとってはお腹にいる時も生まれてからも感性や想像力を豊かにするためにとても大切なことです。本の読み聞かせを通して、赤ちゃんに語りかけてみませんか？

ファースト・ブック事業

町図書館では、赤ちゃんが初めて出会う絵本をお母さんに心をこめて作ってもらおう場を設けています。かわい切り絵や、お父さんやお母さんが登場する絵本は生まれてきた赤ちゃんにとっても、きつと大切な贈り物になるはず。絵本は最後に生まれてきたお子さんの写真とメッセージが入り完成するので、お子さんの誕生と絵本の完成で喜びも二倍に。



第1子を出産予定の山田雅美さん（左）「大きくなったら生まれる前からこの絵本を作ってあげたんだよと教えてあげたい」とかわいいウサギが登場する絵本の作成に励んでいました

製作中は同じ環境のお母さんとのコミュニケーションも図ることができ、ストレスを発散する場としても最適です。絵本の製作には図書館の職員がお手伝いしますので、お気軽に参加してみてください。



絵本にかけられているブックカバーは図書館ボランティアが作成してくれたもの。町民全体で赤ちゃんの誕生を心待ちにしています

子育て支援センター（通称ばまキッズ）では… 022-88811

びよびよの日、あかちゃんの日、のびのびの日として、毎週無料開放を行っています。また、急な用事や保護者のリフレッシュのための一時保育や、子育て相談も行っています。このほか、子育て支援センターと教育委員会、健康管理センター、子育てサークルの四団体が連携し、お弁当作りや運動会、子育てに関する講話などを家庭支援・教育事業「なかよし」という子育て

- 講座で、毎月一回行っています。ぜひ参加してみてください。
- 無料開放対象者
- ☆びよびよの日
- 妊婦さんと0歳のお子さんをもち親子
- ☆あかちゃんの日
- 妊婦さんと第一子が0歳の親子
- ☆のびのびの日
- 一歳から就学前のお子さんをもち親子



出産後、子育ての環境を整うように子育て用品のレンタルやサイクルも行っていきます

体調を崩してしまい、子どもの養育ができない。出産を終え、上の子を見てくれる人がいない。など一時的に育児の補助が必要になったことはないですか？

まちの人たちも応援しています！ “すきやきたい”

「すきやきたい」では登録した会員同士が、お互いに助けたり助けられたりしながら子供の成長を見守っています。日ごろから、「すきやきたい」の皆さんは、通学路などでの声掛け活動なども行っています。

ニジマス釣り

公園内を流れる本別川にニジマスを放流し、子供から大人までが釣りを楽しみました



ブルーベリー苗木配布

配布前から大勢の人が列を作っていました



うなぎつかみどり

あまりの好天による水温の上昇と子供たちの元気の良さに、うなぎもぐったり…



野点

かわいらしい小学生などが、自然に触れながらお茶をたて、訪れた人に振舞いました



開会式

野田仁実行委員長が開会のあいさつをしました



ジャンボ義経鍋

本別産マイタケを使用した、特製きのこ汁。今年も行列ができました。600食完売！



ふわふわランド

子供たちに大人気のふわふわランド。遊具の中で跳んだりはねたり大はしゃぎでした



お笑いライブステージ

大西ライオンが、ステージ前に詰めかけた観客を爆笑の渦に巻き込みました



本別義経太鼓保存会

やる気満々で出番を待つ子供たち



子供ゲーム

FM-JAGAIによる子供ゲーム。ステージ上がった子供たち、はちよっぴり緊張ぎみでした



とがち青空レディ

豊嶋理沙さんが祭りに花を添えてくれました



YOSAKOIソーラン踊り

義経爛漫が華麗な踊りを披露しました



第五十一回 本別山溪つつじ祭り

第五十一回本別山溪つつじ祭り
(実行委員会主催)が
五月十日に本別公園で
開催されました
開催日前のポカポカ陽気で
本別公園内の一万六千株の
エゾムラサキツツジや
二千本のサクラが一気に花開き
開催日には最盛期は
過ぎていたものの、
きれいに色づいた花々が
来場者を迎えました
そんな花の香りと穏やかな
春の陽気に誘われて、
町内外から約六千五百人が
繰り出し、
花を見ながらの食事や
もりだくさんのイベントで
楽しんでいました



皆様からのご厚意 大切に使用させていただきます

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例
平成二十年度(平成二十年四月～平成二十一年三月)
の運用状況をお知らせします

本別町個性あるふるさとづくり寄付条例は、個性や魅力にあふれ、全国に発信できる「ふるさとづくり」を進めるための事業等に活用するべく、平成十八年度から制度をスタートさせました。

制度の運用から三年、趣旨や目的をご理解いただき、絶大なご支援を賜りました個人・団体の皆様に対し心からお礼申し上げます。

平成二十一年三月三十一日現在、平成二十年度に寄付を頂いた口数は二千九百二十五口、総額千四百六十二万五千三百二十円で、これまでの累計としては、口数は四千四百六十二口、総額二千三百三十一万四千二百円となっております。

運用実績は、平成二十年度、本別空襲をはじめとする戦争の悲惨な体験を後世へと語り継ぐため、資料館特別展「わが町の七月十五日展と学童疎開船対馬丸の全貌」の事業に二十万円で、感性や創造力を豊にしてくれる「本」を中心としたまちづくりを進めるため、



資料館特別展「わが町の七月十五日展と学童疎開船対馬丸の全貌」

「子どもの本・本の町・夢づくりフェスティバル」の事業に三十万円の合計五十万円の寄付金をそれぞれ活用させていただきます。

平成二十一年度は、寄付金を活用した事業は予定していませんが、今後も他の事業の早期実現のための方策検討を重ね、より良いまちづくりのために有効に活用させていただきます。

「個性あるふるさとづくり」に多大なるご支援、ご協力をよろしくお願い申し上げます。



「子どもの本・本の町・夢づくりフェスティバル」あまんきみこさんと矢崎節夫さんの対談

分野別寄付数

平成20年度分(平成20年4月～平成21年3月)

寄付項目(分野)	寄付口数	寄付金額(円)	項目比率(%)
福祉でまちづくり推進事業	1,132	5,660,320	38.7
農産物加工体験施設整備事業	812	4,060,000	27.8
自然との共存・環境保全推進事業	725	3,625,000	24.8
資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業	132	660,000	4.5
本のまち・夢プラン事業	124	620,000	4.2
合計	2,925	14,625,320	100.0

累計分(平成18年度～)

寄付項目(分野)	寄付口数	寄付金額(円)	項目比率(%)
福祉でまちづくり推進事業	1,467	7,335,420	32.9
農産物加工体験施設整備事業	1,198	5,990,000	26.8
自然との共存・環境保全推進事業	1,121	5,605,000	25.1
資料館展示「わが町の七月十五日展」開催事業	341	1,705,000	7.6
本のまち・夢プラン事業	335	1,675,000	7.6
合計	4,462	22,310,420	100.0

地域別寄付者数

平成20年度分(平成20年4月～平成21年3月)

寄付者のお住まい	寄付者数(件)		地域別比率(%)
	個人	うち団体	
本別町内	15	2	68.2
道内他市町村	4	0	18.2
道外他市町村	3	1	13.6
合計	22	3	100.0

累計分(平成18年度～)

寄付者のお住まい	寄付者数(件)		地域別比率(%)
	個人	うち団体	
本別町内	41	9	50.0
道内他市町村	15	0	18.3
道外他市町村	26	2	31.7
合計	82	11	100.0

国民年金

年金記録の確認をお願いします

4月から

「ねんきん定期便」をお送りしています

「ねんきん定期便」とは

今年4月から、年金記録を定期的にご確認いただけるよう、国民年金、厚生年金に現役で加入されている人の誕生月に、2色の封筒でお送りするものです。

☆オレンジ色の封筒：年金記録に「もれ」や「誤り」のある可能性の高い人

☆水色の封筒：それ以外の人

「ねんきん定期便」で

確認をお願いします

・これまでの年金加入期間(共済組合の期間)は記載されていません

・加入実績に応じた年金見込み額(年金受給者(支給停止の人も含む)は記載されていません)

・年金加入履歴(共済組合の履歴は記載され

ていません)

・国民年金保険料の納付状況

・厚生年金保険料の標準報酬月額等の月別状況

確認した後の手続きは

「ねんきん定期便」に「年金加入記録回答票」(青色または白色)が同封されています。

★青色の回答票が同封されていた人

「もれ」や「誤り」がある場合もない場合も必ずご回答ください

※青色の回答票は、「ねんきん特別便」に未回答の人や、厚生年金保険の標準報酬月額に誤りの可能性がある人などに同封されています

★白色の回答票が同封されていた人

「もれ」や「誤り」がある場合のみご回答ください

回答票の送付先

同封されている封筒で、社会保険庁社会保険業務センターねんきん定期便係に返送してください。

《お問い合わせ先》

「ねんきん定期便専用ダイヤル」

☎0570-0588-5555

月～金曜日：午前9時～午後8時
第2土曜日：午前9時～午後5時

帯広社会保険事務所

☎0155-259-8113 (国民年金課直通)

役場住民課戸籍年金担当

☎22-8128

その86

65歳以上の年金受給者で、住民税を納付されている人へ

10月から

住民税を年金から天引きする

特別徴収制度が始まります

年金受給者の皆さんには今まで年金に係る住民税を、納付書や口座振替で納めていただいていたのですが、10月から支給される年金から住民税を天引きする特別徴収制度が始まります。この制度は、年金受給者の納税手続きの負担軽減と市町村の大切な財源である住民税徴収の効率化を図ることをねらいとしています。天引き対象となる六十五歳以上の年金受給者で住民税を納付されている人は、住民税の納期が年四回から六回になり、一回当たりの負担額が軽減されるとともに、わざわざ住民税を納めるために、役場や金融機関などに出向いて手続きする手間も省かれます。

〈特別徴収制度とは〉
 社会保険庁や共済組合などの年金保険者が、住民税を年金から天引きして市区町村へ直接納入する制度です。

Q&A

Q3 何が天引きされるの？
A3 年金の所得金額から計算した住民税額です。
 ※年金以外の所得に係る住民税額については、今まで通り普通徴収（納付書または口座振替）になります

Q1 どんな人が対象になるの？
A1 4月1日現在65歳以上の年金受給者で、前年中の年金所得に係る住民税の納付義務のある人です。
 ※介護保険料が年金から天引きされていない人や、天引きされる住民税額が老齢基礎年金等の額を超える人などは天引きの対象になりません

Q4 天引きが中止になる場合は？
A4 天引き開始後、町外へ転出、税額の変更、年金の支給停止が発生した場合は天引きが中止されます。

Q2 天引きの対象となる年金は？
A2 老齢基礎年金または昭和60年以前の制度による老齢年金、退職年金等です。
 ※障害年金および遺族年金などの非課税の年金は天引きの対象になりません

天引き方法について (例) 住民税の年税額が6万円の場合

これまでの住民税の納め方

月	納付書で納める (普通徴収)			
	6月	8月	10月	1月
税額	15,000円	15,000円	15,000円	15,000円
算出方法	1/4	1/4	1/4	1/4

※年税額の1/4ずつ納付書で納付

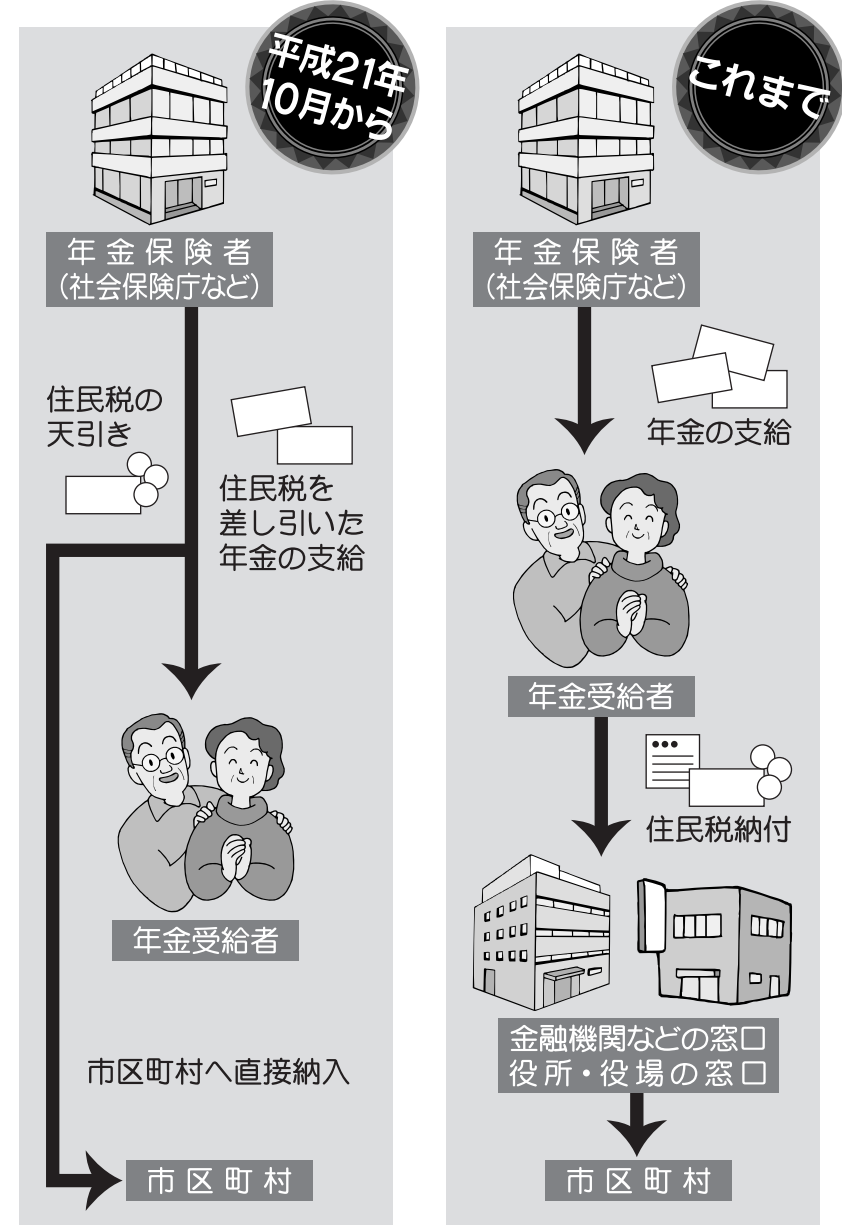
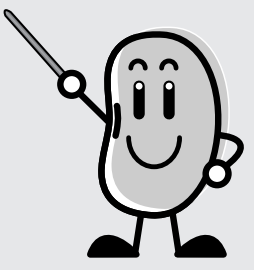
平成21年度の住民税の納め方

月	納付書で納める (普通徴収)		年金から天引き (特別徴収)		
	6月	8月	10月	12月	2月
税額	15,000円	15,000円	10,000円	10,000円	10,000円
算出方法	1/4	1/4	1/6	1/6	1/6

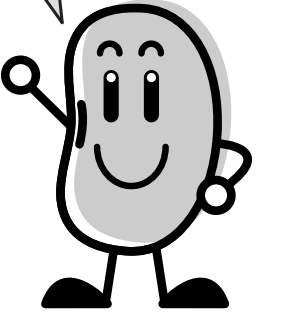
※10月からの天引きになるため、6月・8月はこれまで通り納付書または口座振替での納付となります

平成22年度以降の住民税の納め方

月	年金から天引き (特別徴収)					
	4月	6月	8月	10月	12月	2月
税額	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円	10,000円
算出方法	前年度2月と同額			22年度の年税額の残り1/3ずつ		



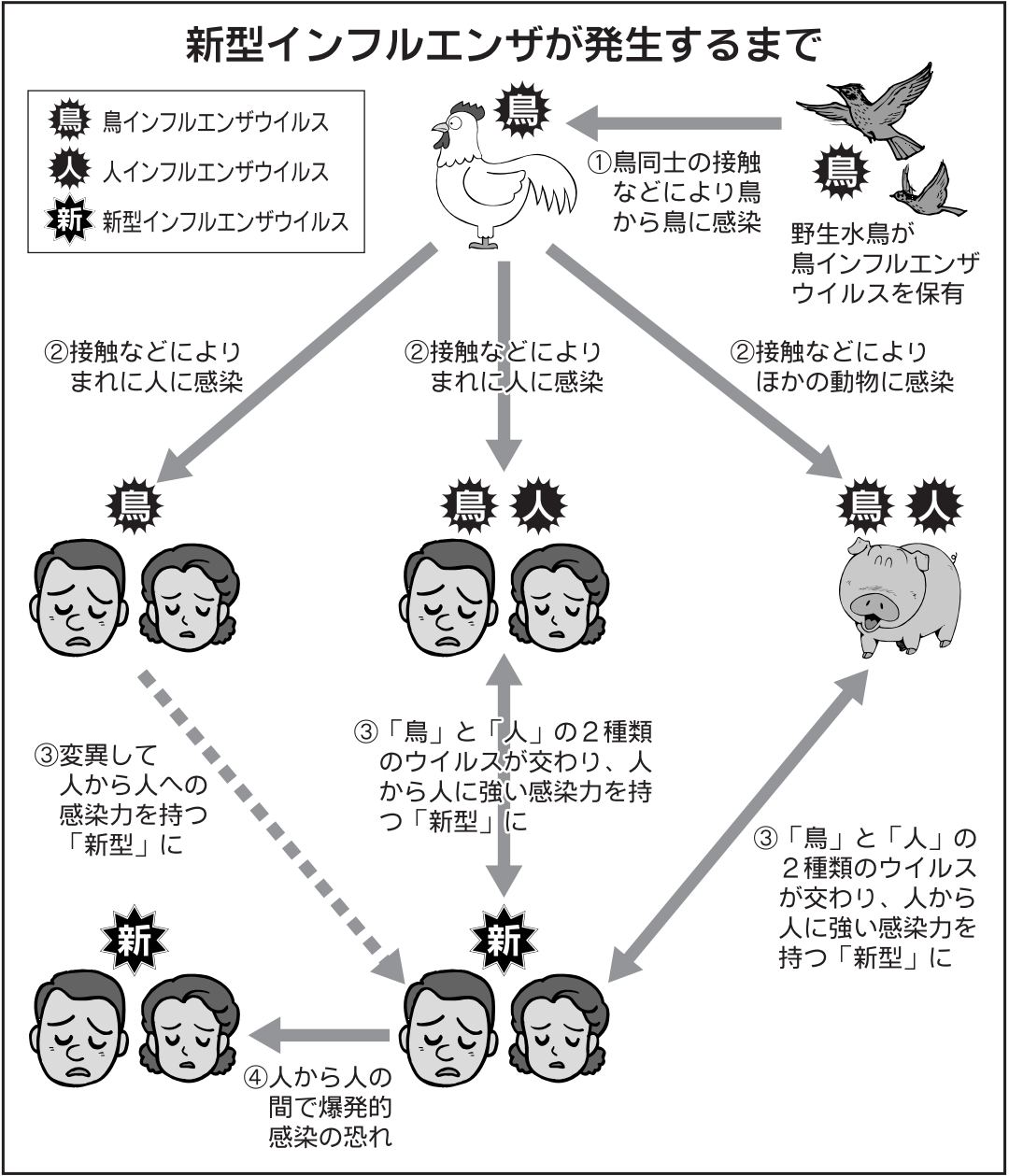
住民税の年金からの天引きは、納税方法を変更するものであり、新たな税負担が生じるものではありません



お問い合わせ 住民課税務担当 ☎ 22-8127

※文章中の「住民税」は個人住民税、「年金」は公的年金の略です

新型インフルエンザ



新型インフルエンザが流行しています

新型インフルエンザ（豚インフルエンザ… H1N1型）が世界的に広まっており、日本国内でも次々に感染者が確認されています。幸い、今回のインフルエンザは毒性が普通のインフルエンザと変わらず、タミフルなどの抗インフルエンザ薬で治療が可能とされています。

しかし、糖尿病患者や人工透析患者などの慢性疾患を持っている人は重症化する危険があり、決して軽視できるものではありません。また、新型インフルエンザの流行は、完全な収束まで複数回繰り返されると考えられており、さらに毒性が強い鳥インフルエンザ（H5N1型）などが新型インフルエンザ化する危険はまだ続いています。被害を最小限に食い止めるため、予防法や発生・流行時の対応を身につけておきましょう。

感染経路

感染経路も通常のインフルエンザと同じで、感染者のせきやくしゃみに含まれるウイルスの飛沫からうつります。ウイルスが付着した手で口や鼻を触ることで感染することもあります。そのほか、バスのつり革やドアノブなどウイルスが付着した物を触った手で口や目の粘膜に触れることでも感染が広がると考えられています。

疑わしい症状があったときは？

もしも発熱、せきなどインフルエンザと思われる症状が出たら、まず「発熱相談センター」に電話などで問い合わせをし、そこで指定された医療機関（発熱外来）にかかります。直接、医療機関を受診しないでください。万一が新型インフルエンザだった場合にほかの患者さんに感染させる恐れがあります。

日ごろの感染予防対策が大切です！

せきエチケットを守りましょう

- ☆せき・くしゃみの際はティッシュなどで口と鼻を覆い、ほかの人から顔をそむけ、1～2m以上離れましょう
- ☆鼻汁・たんなどを含んだティッシュはビニール袋などに入れてゴミ箱に捨てましょう
- ☆熱、せき、くしゃみなどの症状のある人は必ずマスクをつけましょう



手洗い

せっけんやハンドソープを使って流水で念入りに洗い、あとは清潔なタオルなどで水分を十分にふきとってください。時計や指輪をはずし、せっけんを泡立てて手のひら・甲、指先、爪の間、手首など全体に洗い流しましょう。

うがい

外出から帰ったあとや、のどに不快感や炎症があるときはうがいをしましょう。

マスク

熱・せき・くしゃみなどの症状がある人は、他人と会うときにはマスクをつけましょう。また、このような症状の人と会う場合には、マスクをつけて感染を防ぐことが大切です。不織布製マスクは、使い捨てマスクです。1日1枚程度を目安にします。マスクを外すときはウイルスが付着している可能性がありますので、表面に触れないようにし、外した後は手を洗いましょう。

海外旅行・国内旅行などには気を付けてください

新型インフルエンザが世界各国で拡大しているため、外務省は「感染危険情報」を发出して注意を呼び掛けています。新型インフルエンザの感染が確認されている国に渡航を検討されている人は、渡航先の感染状況およびWHO（世界保健機関）の最新情報などを入手して、十分ご注意ください。（外務省 五月二十三日の情報）

また、日本国内では、関西方面で感染者が多数確認され、他府県にも拡大しています。どこで感染するかわかりませんが、国内旅行をする場合にも新型インフルエンザの情報に気を付けてください。

新型インフルエンザかなと思ったら

帯広保健所 発熱相談センター

- ☎0155-27-8637（午前9時～午後9時）
- ☎0155-21-6399（午前9時～午後9時）
- ☎0155-26-9005（午後9時～午前9時）

町でも対策推進会議を設置しています

町では、新型インフルエンザが北海道、十勝管内にまで感染が拡大した場合には、直ちに「新型インフルエンザ対策本部」を設置することにしています。また現在、情報の収集・提供、相談窓口の強化、迅速な感染者の受け入れ体制整備などに取り組むなど、具体的な対応策を検討しています。

インフルエンザに関するお問い合わせ・ご相談は健康管理センターへ ☎22-2219

平成
21年度

狂犬病予防注射と

犬の登録日程表



月日	時間	場所	住所	月日	時間	場所	住所
6月11日(木)	9:40~10:00	美里別中地区集会場	美里別西中	6月9日(火)	9:20~9:40	上本別生活館	上本別
	10:05~10:15	ラウンバ入口バス停	美里別西上		9:45~10:00	井上産業様	東仙美里
	10:20~10:40	農協美里別支所様	美里別西上		10:15~10:25	奥仙美里会館	奥仙美里
	10:55~11:20	美里別東中会館	美里別東中		10:45~10:55	村上行男様宅	美栄
	13:30~13:45	旧拓農公民館跡	拓農		11:05~11:15	星崎政博様宅	上仙美里
	13:55~14:05	上拓農会館	上拓農		11:25~11:35	仙美里2会館	仙美里2
	14:10~14:20	活込神社	活込		13:20~13:30	大石純一様宅	東本別
	14:30~14:40	渋谷茂様宅	活込		13:50~14:00	チエトイ1会館	チエトイ1
	14:55~15:10	美里別東上会館	美里別東上		14:10~14:30	負籠1会館	負籠1
6月12日(金)	9:20~9:30	美里別東下1会館	美里別東下1	14:40~15:00	負籠2会館	負籠2	
	9:40~9:55	府川厳様宅	追名牛	15:10~15:20	勇足西1会館	勇足西1	
	10:05~10:20	川東義一様宅横	追名牛	15:25~15:35	丑若元吉様宅	勇足東3	
	10:25~10:35	農業大学校様前	仙美里ヶ丘	6月10日(水)	9:25~9:40	勇足東1会館	勇足東1
	10:40~11:00	西仙美里集会場	西仙美里		9:50~10:05	勇足東4会館	勇足東4
	11:10~11:25	美里別高東会館	美里別高東		10:10~10:25	勇足東5会館	勇足東5
	11:30~11:40	登坂利子様宅	美里別東下2		10:40~10:50	南部匡市様宅	勇足西5
	13:35~13:45	小泉智行様宅	清里		11:00~11:15	美帯地区農作業準備休憩施設	美蘭別
	13:55~14:15	明美会館	明美		11:25~11:40	勇足西2会館	勇足西2
14:25~14:35	福地忠昭様宅	月見台	13:20~13:30		勇足西4会館	勇足西4	
14:45~15:00	森勢久保様宅	新生	13:35~13:40		旧押帯1会館	押帯	
			13:45~14:10		遠國公司様宅	押帯	
			14:20~14:30	押帯集会場	押帯		
			14:35~14:45	瀧澤花江様宅	押帯		
			14:55~15:10	上押帯地域集会場	上押帯		
			15:25~15:35	旧上美蘭別分館	美蘭別		

月日	時間	場所	住所
6月7日(日)	9:20~9:40	勇足コミセン前	勇足元町
	9:50~10:10	前田自動車工業様	共栄1
	10:15~10:30	共栄会館	共栄
	10:40~11:05	釧路トヨタ自動車本別営業所様	南4丁目
	11:10~11:35	本別森林事務所	南3丁目
	13:10~13:35	みどり公園	緑町
	13:40~14:10	本別町車両センター	向陽町
	14:15~14:25	東町中前建設様社宅	東町
	14:30~15:00	本別町役場前	北2丁目
6月14日(日)	9:15~9:30	青田勝彦様宅	弥生町
	9:35~10:00	新町公園	新町
	10:10~10:30	光仙寺様	栄町
	10:50~11:20	役場仙美里出張所	仙美里元町
	11:35~11:45	錦町児童公園	錦町
	13:10~13:25	本別町ふれあい多目的アリーナ	山手町
	13:35~14:00	北公園	北8丁目
	14:05~14:20	清流公園	清流町
	14:25~15:00	本別町役場前	北2丁目

- ◎ 狂犬病予防注射は、毎年1回受けなければなりません
- ◎ 生後91日以上の子犬は、登録・狂犬病予防注射を受けなければなりません
- ◎ 犬の登録は、平成7年4月から犬の生涯に1回の登録となりました
- ◎ 犬の死亡、所有者および所有者住所の変更などがあつた場合は、住民課環境生活担当に届け出をしてください
- ◎ 注射手数料は**3,040円**です
新規で登録する場合は、登録手数料が別途**3,000円**かかります
- ◎ ご不明な点は、住民課環境生活担当(☎22-8128)または、農業共済組合(☎22-2075)にお問い合わせください

※ 本年度も、後日行われていた個別巡回による狂犬病予防注射の実施等はいりませんので、今回の日程で実施されますようお願いいたします

本別町・本別町獣医師会・十勝農業共済組合北部事業所本別家畜診療所

※ 指定場所は特にありませんので、都合のよい時間・場所で必ず受けてください
 ※ 犬の体調が悪い場合には、事前に申し出てください
 ※ 他市町村や動物病院などで予防注射を実施した場合は、予防注射実施済票を交付しますので、予防注射実施済証を持参の上、必ず役場までお越しください
 (交付手数料**550円**がかかります)

わが町の七月十五日展

特攻隊員と鳥浜トメの生涯

世界恒久平和の願い

太平洋戦争末期の沖縄決戦で、人類史上たぐいのない爆弾などを装備した飛行機が、搭乗員もろとも敵艦に体当たりした陸軍特別攻撃隊。その隊員たちのほとんどが十七歳から二十二歳ぐらいの若者でした。

陸軍最期の特攻基地（知覧）から出撃した特攻機は二度と帰ってきませんでした。

知覧特攻平和会館では特攻隊員たちの遺影、遺品、記録等貴重な資料を収集・保存・展示して当時の真情を後世に正しく伝え世界恒久の平和に寄与しています。

本別町歴史民俗資料館では、愛するものを守るために、大空に飛び立った若者たちの真実を知り、平和の尊さを伝えるため、知覧特攻平和会館の資料を紹介します。

お母さん
大元気で
どうか奴を
沈めよ
第一九振隊
収容

特攻隊員が書き残した遺書とは



俺は死んが
任人任せ
大前田

特攻の母 鳥浜トメ

生きて還ることのない出撃を間近に控えた特攻隊員たちが、つかの間のやすらぎの時を過ごした陸軍指定食堂「富屋食堂」。その女主人、鳥浜トメと特攻隊員たちの間には、数々のドラマがあった。

「おかあさん、おかあさん」と慕われていたトメさんは、隊員たちの母親となつて励ますのでした。

「血気の青年たちが幼児のようにやさしく、おばさんに私の残りの年をあげますから長生きしてください」

二度と繰り返してはならないと真実を語り続けたトメの晩年は命をかけての参拝の日々であった。

また、戦後は戦争被害者である孤児たちの母ともなった。

トメの生涯が伝える特攻隊員の真実と平和への願い、そして、命の重さとは。



三角兵舎の中でくつろぐ特攻隊員



知覧飛行場の跡地を見つめるトメ



出撃前に子犬と遊ぶ若桜



出撃を見送る女子学生

一つしかない命を
投げすてて
散つていった
若者達の事…
忘れてはならない
鳥浜トメ

トメの生涯が伝える特攻とは



特攻隊員から母のようにしたわれたトメ

7月1日(水)~7月31日(金)

開館時間 午前9時~午後5時
(入館は午後4時30分まで)

休館日 月曜日
(7月6日・13日・20日・27日)

入館料 有料
町内：一般 100円
65歳以上・小中高 50円
町外：一般 150円
65歳以上・小中高 100円

会場 本別町歴史民俗資料館
本別町北2丁目4番地2
☎ 0156-22-2141
(内線410)

協力 ・知覧特攻平和会館
・ホテル館
(特攻の母鳥浜トメ資料館)



ほんべつ学びの日 光風事業

子どもが明るく心豊かに成長できるように、
そして大人も心から元気になることを願って

心に響く書との出会い 「相田みつを展」

9月16日から中央公民館にて開催

子どもから大人まで多くの幅広い年代の皆さんが相田みつをの作品を見て、読んで、感じることで勇気や希望を持ち、そして心から元気になって欲しいと願っています。

この機会に改めて家庭・学校・地域が一体となつて、地域の宝である子供たちをばくむむことの大切さや私たち大人の学びの必要性を、やさしいことばを通して感じてください。

期 間 平成21年 9月16日(水)~10月4日(日)

会 場 中央公民館大ホール

開館時間 午前9時~午後5時(入館は午後4時まで)
※土・日曜日、祝日は午後8時(入館は午後7時まで)

入館料 〈一般〉前売り500円(期間中は600円)
〈高校生〉前売り250円(期間中は300円)
〈フリー〉1,000円(期間中何度でも入場可)
〈幼児、小中学生および学校の授業での入館〉無料
※団体割引(10人以上) 一般500円/1人 高校生250円/1人

チケット販売所 中央公民館、町体育館、町図書館、役場勇足・仙美里出張所
本別町芸術文化事業振興会各理事宅、藤丸チケットぴあ、かちまいサロン ほか

主 催 本別町・本別町教育委員会

共 催 本別町芸術文化事業振興会

後 援 本別町文化協会・北海道新聞社本別支局・十勝毎日新聞社本別支局

協 力 HTB北海道テレビ・テレビ朝日

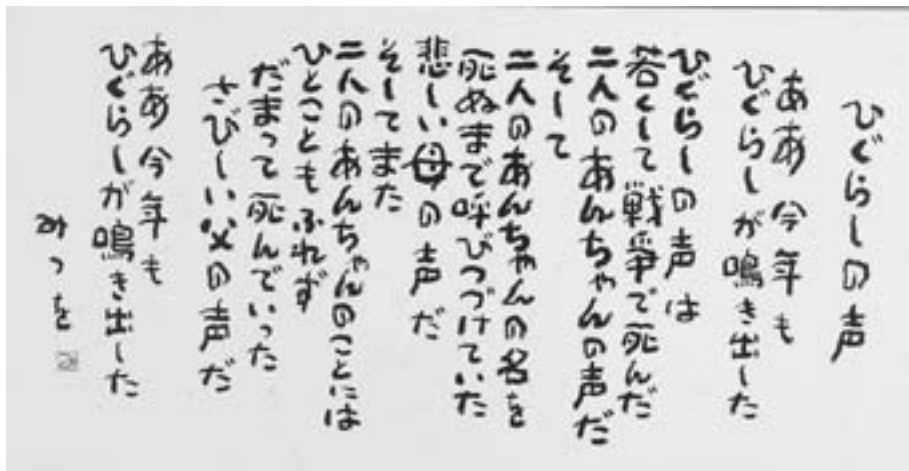
特別協力 相田みつを美術館

相田みつを

心を揺さぶることばを独特の書体で表現しつづけた相田みつをは、書家・詩人として十七歳から本格的な書の勉強を始めますが、誰の真似もしたくない、誰にも真似されたくないというので、生涯師事はせず、弟子も持たず「自分のことば、自分の書」をさがしつづけたが、二生勉強、一生青春のごとく、いろいろな作品を残しました。

そして自らの思いを長い詩の形でまとめ、その中で伝えたい思いをぎゅつと凝縮し、日々想うこと、こうありたいと願うことを、短い詩のような言葉にして、さらに詩の内容にふさわしい書体を追求め、様々な感情を表すために、それぞれにふさわしい書体を求め、長い試行錯誤を経て、自分に語りかけるように、独自の書を完成させたのです。

よく人は、相田みつをの書を、素人の、子どもが書いたような字だといいますが、でもその書は、基礎的な素養をきちんと学んだうえで、書はいかにしたら言葉が伝わるかと考え、誰にでも読める、そのう、子どもでも読めるひらがな中心の文字で書いたのが、あの書となり、伝えたい言葉ができたので



相田みつをは、多感な旧制中学校時代に二人のお兄さんを戦争で亡くされ、その後、彼の母は、二人の名前を呼び続けて亡くなられたそうです。彼の詩が多くの人に響くのは、こうした戦中戦後の動乱期に多くの悲しみや苦しみの体験の中から「生きる」ということ、「いのち」というものについて真剣に考え、いのちの尊さを身にしみて感じたことが大きいように思います。

波乱に満ちた相田みつをの生涯をご紹介します

- 1924(大正13)年 5月20日 栃木県足利市に6人兄弟の三男として生まれる。本名 光風
- 1937(昭和12)年 旧制栃木県立足利中学校に入学。書や短歌、絵に親しみ、剣道部で活躍する
- 1941(昭和16)年 2番目の兄・幸夫が戦争で亡くなる
- 1942(昭和17)年 旧制中学校を卒業。歌人の山下陸奥に短歌を学ぶ
曹洞宗の禅僧、武井哲応老師と出会い、禅を学ぶ
- 1943(昭和18)年 書家の岩澤溪石に書を学ぶ
- 1944(昭和19)年 一番上の兄・武雄が戦争で亡くなる
- 1951(昭和26)年 27歳で関東短期大学夜間部国文科に入学。29歳で卒業する
- 1954(昭和29)年 第1回個展開催。その後、亡くなるまで約20回の個展を開く
- 1955(昭和30)年 ろうけつ染めの技術を学ぶ
- 1959(昭和34)年 足利市借宿町に初めてのアトリエを持つ
- 1966(昭和41)年 足利市八幡町にアトリエをつくり、亡くなるまでここで創作を行う
- 1984(昭和59)年 初めての本『にんげんだもの』を出版する
- 1991(平成3)年 12月17日に67歳で亡くなる

お問い合わせ

中央公民館内文化振興担当 ☎ 22-5111

HELLO 勇足小学校



どきどきの入学式

ようこそ 勇足小学校へ

今年は8人の1年生が入学し、全校児童45人となりました。ピカピカの1年生もすっかり学校に慣れ、元気いっぱい！6月6日の運動会に向けて練習を頑張っています。



はじめての給食

カツカレーおいしい！
5、6年生が盛り付けしてくれました。



歯みがきもしっかりと！

交通安全教室



山本建設さんのご協力で大形車からの死角を体験しました。



車はこないかな？



みんなの前で自己紹介。
やさしいお兄さんお姉さんたちとゲームをしました。

1年生を迎える会



地震発生!!!

地震とその後の火災による避難の訓練をしました。「大変真剣でした」と消防士さんからも褒めていただきました。

春の避難訓練



ぼくにまかせる！

第六次本別町総合計画 策定審議会がよいよよいよ始動

新しい本別町のまちづくりの方向性を審議する「第六次本別町総合計画策定審議会（第一回）」が五月二十五日、町体育館で開かれ、策定審議会委員の委嘱、新総合計画策定の諮問がされたほか、町民を対象とした講座が行われました。

町民27人に委嘱状を交付し諮問

策定審議会の席上で、高橋正夫町長から策定審議会委員一人ひとりに委嘱状が手渡されました。



野公司氏、職務代理者として三枝金作氏を選出後、高橋町長が策定審議会に対し「現計画は、多くの町民の皆さんの想いを込め、へひと」を中心

にまちづくりを展開することを基本方針として策定し、町民の皆さんと共に推進してきました。現行の計画が平成二十二年度で満了することから、町の現状や課題を的確に把握し、将来のあるべき姿や目標を定めた第六次本別町総合計画を策定していただきたい」と諮問しました。

この諮問を受け、策定審議会では平成二十三年度の策定に向け協議を重ねていきます。



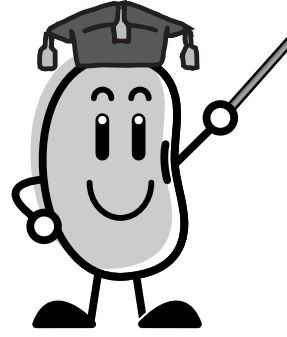
北海学園大学開発研究所 開発特別講座

北海学園大学法学部佐藤克廣教授を講師に迎え、「総合計画策定の意義と町民と行政の役割」と題した講演が行われました。

佐藤教授は、将来のまちづくりの目標と、それを実現するために町の今後の進むべき方向性を具体的に示す総合計画の意義を訴えました。会場を訪れた策定審議会委員など約百十人の参加者は、今後まちづくりを進める上での総合計画策定の重要性について学びました。

今後の計画策定スケジュール

- 現計画の点検および現状の把握
- 住民アンケート、各種団体や地域への聞き取り
- 策定審議会、研修会の開催
- 計画素案の作成
- 議会への説明
- パブリックコメントの実施
- 計画（案）の答申
- 議会へ基本構想（案）を提案、議決
- 印刷、配布



問い合わせ
企画振興課
企画・生涯学習担当
022-8121
(課直通)

無火災を願って 4 20

春の全道火災予防運動（4月20日から30日）初日の4月20日、防火啓発パレードが町内で実施されました。砂原勝副町長の「町民の防火に対する意識を高めるため、しっかり啓発をお願いします」とあいさつの後、消防署車庫前から消防車や町危険物安全協会の車両14台が出発し、火災予防を呼び掛けました。



「自分の目」で安全確認 4 23

勇足小学校（浅川佳孝校長、児童45人）が、交通ルールを守り横断歩道などでの正しい歩行を学ぶことを目的に4月23日、同小学校と国道242号線を利用し交通安全教室を実施しました。当日は本別警察署員と交通指導員、地元建設会社が協力。子供たちは、警察署員から「安全確認は、自分の目でしっかりしてください」と説明を受けた後、実際にトラックの運転席に乗って死角の確認や、手押し式信号機付き横断歩道での歩行訓練などを体験しました。また、4月24日に本別中央小学校、5月7日には仙美里小学校でも同様の教室が行われました。



町がきれいになりました 4 25 5 9

4月25日に株式会社野田組（野田仁社長）と株式会社山中（畝地昭夫社長）の職員の皆さん約50人が、役場前町民憩いの広場や道の駅周辺などを、5月9日には帯広信用金庫本別支店（田中英行支店長）の職員の皆さん5人が、愛のかけ橋付近のごみ拾いなどの清掃ボランティアに汗を流しました。



（株）野田組・（株）山中の職員の皆さん



帯広信用金庫本別支店の職員の皆さん

プロの技術を生で体験 4 29

今年で3回目となる北海道日本ハムファイターズフィールドクラブ野球教室（町体育協会主催：大西光夫会長）が4月29日、弥生球場で開催されました。本別、勇足、仙美里野球少年団、本別中学校野球部と今年は陸別野球少年団の約90人が参加し、同球団少年野球指導者の白井康勝コーチと森範行コーチからプレーの基礎技術などを学び、コーチの実技にプロのレベルの高さを実感していました。



川口正夫さんに叙勲 4 30

川口正夫さん（元町議会議員）の旭日単光章の伝達式が4月30日役場で行われ、伊藤敏彦十勝副支庁長から勲記と勲章が伝達されました。川口さんは、昭和49年8月に本別町議会議員に当選して以来、4期16年にわたり在職。その間、本別町議会建設常任委員会委員長、同総務常任委員会委員長等を歴任し地方自治の振興に大きく貢献。また、本別町商工会副会長、本別町観光協会副会長として町内の経済発展にも尽力されました。



自治会連合会総会 5 7

町内76自治会で構成される本別町自治会連合会（佐々木哲夫会長）総会が5月7日、津村会館で開かれました。自治会長を10年以上務め自治会活動に貢献した4人に表彰状が手渡された後、総会が開かれ、佐々木会長が「自治会連合会は、住民のためにある。できるだけ多くの意見をくみ取れるよう今年度も努力していきたい」とあいさつ。総会には委任状を含め44人が出席し議事を審議。今年度創立30周年の節目を迎える本別町自治会連合会の記念事業を含めたすべてが承認されました。



いざよい会 5 17

「健康リハビリ～脱メタボ！一に運動二に食事しっかり禁煙、最後にクスリ～」と題した、いざよい会が5月17日、中央公民館で開催されました。町国保病院の加納徳幸健康運動指導士が、タオルを使ったストレッチや足ジャンケンなど、体と頭を使った軽運動を展開。参加した14人は心地よい汗を流しながら、運動を毎日継続することの大切さを実感していました。



救命救急について学ぶ 5 19

家庭支援・教育事業「なかよし」が5月19日、子育て支援センターで開催されました。「我が子の命を救え!!」と題した今回のなかよしは、本別消防署の職員が講師となり、乳幼児や小児の人形を使って人工呼吸や、AED（自動体外式除細動器）の使用法のほか、誤飲や喉を詰まらせた場合の対処法などを説明。参加した10人は講師の話しに耳を傾けながら、真剣に救命救急方法について学びました。



情報を広報電算担当へお寄せください ☎22-8121（課直通）

みんなの健康

298

子どもの歯の矯正には、大人の骨格へと成長する前に不正咬合を軌道修正し、健全に成長させるという大きなメリットがあります。

子どもの矯正 矯正するって なぜいいの？

生活習慣)によるものです。癖を治すことが不正咬合の予防と矯正治療後の後戻りを防ぎます。

- 姿勢が悪い
- 口呼吸をしている
- 指しゃぶり(四歳すぎはダメ)
- つめかみ
- テレビを横に見ながらの食事、足が床についていない
- ほおづえをつく
- 左右どちらか一方の顔を下に寝る

- 母乳(哺育)経験がないか
- 舌が正しく使えない
- 正しい嚙下が出来ない(つばを飲むとき)

一期治療は六七歳のころ、ちょうど前歯の永久歯の上下四本ずつ生えだころが最適です。一二年の治療後、経過を観察し、永久歯が生えそろった時点で、二期治療(仕上げ治療)が必要かどうか判断します。一後順調に発育し、生活習慣も改善した場合には二期治療が不要の場合もあります。

前歯のすき間から出るのはダメ
正しい発音は？
「さいた さいた さくらがさいた」と言わせてみましょう。
「たいた たいた たくらがいた」と聞こえたら舌癖がある証拠です。
おかしいなと感じたら、歯医者に相談してください。

医療法人社団
河合歯科医院
院長 河合篤史

道の駅「ステラ★ほんべつ」 オープニングせしモノー

4/26

4月20日に新たな出発をした、道の駅「ステラ★ほんべつ」のオープニングセレモニーが4月26日、同駅で開催されました。「ステラ★ほんべつ」の名付け親の横田静男さんなど18人の来賓が駆けつけた開会式では、駅長の高橋正夫町長が「本別駅は100年の歴史があり、暮らしの原点として繁栄してきた。これからは、〈道の駅〉として生まれ変わり、21世紀の地域の拠点として、未来に向けて楽しく、ぬくもりのある出会いの場として前向きに進んでいきたい」とあいさつ。その後、テープカット、義経太鼓披露が行われたほか、ジャンボ義経鍋が無料で振舞われるなどセレモニーを盛り上げました。外は雪の降る肌寒い天候でしたが、道の駅構内はセレモニーを祝おうと町内外から訪れた多くの人の熱気であふれかえっていました。



これから、〈道の駅〉として生まれ変わり、21世紀の地域の拠点として、未来に向けて楽しく、ぬくもりのある出会いの場として前向きに進んでいきたい」とあいさつ。その後、テープカット、義経太鼓披露が行われたほか、ジャンボ義経鍋が無料で振舞われるなどセレモニーを盛り上げました。外は雪の降る肌寒い天候でしたが、道の駅構内はセレモニーを祝おうと町内外から訪れた多くの人の熱気であふれかえっていました。

♪ 本別混声合唱団 団員募集 ♪

本別混声合唱団では、団員を募集しています。
大きな声で楽しく歌うことは、健康にも良いことです。あなたも一緒に歌いませんか。

☆毎週火曜日 午後7時30分～午後9時30分 町体育館研修室で練習中！

- ♪20～70歳代の団員で、楽しく歌っています
- ♪合唱が初めての人、音符が読めない人も大歓迎！
- ♪見学も大歓迎です。お気軽にご連絡ください



☆団長 大沼順子さん
☆問い合わせ 櫻井典子さんへ (☎23-2136)

ご寄付ありがとうございます

平成21年4月20日から5月12日

次の通りご寄付をいただきました。
紙上をかりて厚くお礼申し上げます。(敬称略)

★老人ホーム指定

- ボックスティッシュ 120箱
……………北8丁目 鈴木貞男
- トイレットペーパー 40ロール
……………
- ボックスティッシュ 24箱
……………十勝明るい社会づくり本別地区 代表 城浦省二

個性あるふるさとづくり寄付条例による寄付

- ★福祉でまちづくり推進事業
金 50,000円……………追名牛 川東義 一名
金300,000円…………… 匿 一名
- ★日本一の豆を生かした農産物加工体験施設整備事業
金400,000円…………… 匿 一名
- ★自然との共存・環境保全推進事業
金400,000円…………… 匿 一名
- ★資料館特別展示「わが町の七月十五日展」開催事業
金300,000円…………… 匿 一名
- ★本のまち・夢プラン事業
金300,000円…………… 匿 一名
金100,000円…………… 匿 一名

銀河ホップアップ

— 足寄町・陸別町から —

足寄町

第13回ラワンびぎ狩り

足寄町の特産品で北海道遺産のラワンびぎを自分の手で刈り取りしてみませんか。

○日時 6月28日(日)

午前8時30分～午後1時

○場所 鳥羽農場(鷲府)
永井農場(中足寄)

○会場案内

①現地へ直接(目印として緑地に白字で「JAあしよる」と書かれたのぼりと看板があります)

陸別町

山菜採りはつまご用心

山菜採りなどの季節ですが、例年ヒグマの出没情報が多く聞かれます。不幸な事故を未然に防ぐため、次のことに注意しましょう。

ヒグマに遭遇しないために

○ヒグマの出没個所やヒグマの出没を知らせる看板がある場所への立ち入りは避けましょう

②案内場所を経由(道の駅あしよる銀河ホール21前に案内場を設置しています)

○代金 ビニール袋を現地で購入し、自分で刈り取りして詰めます

大袋(乳白色) 3500円

(約25kg入り)

中袋(透明) 2500円

(約17kg入り)

※量り売りも行っています

○持物 鎌または包丁を持参してください

○詳細 JAあしよる農産課

☎2512178

○集団での行動を心掛けるほか、鈴を携行したり、見通しの悪い場所などで笛を吹くなど、人の存在を早めにヒグマに知らせる工夫をしましょう

○早朝や夕方はヒグマと遭遇する機会が増えますので、その時間帯の行動には細心の注意が必要です

○残飯、空き缶などのゴミは必ず持ち帰りましょう

※山に出掛ける際には細心の注意をお願いします。なお、山野にてヒグマに遭遇したり、足跡などの痕跡を見つけた場合は、陸別町役場産業振興課(☎271214)

1)まで情報をご提供ください